

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2004-10768 (P2004-10768A)

【公開日】平成 16 年 1 月 15 日 (2004.1.15)

【年通号数】公開・登録公報 2004-002

【出願番号】特願 2002-166712 (P2002-166712)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 F 212/14

C 0 8 J 5/18

D 0 1 F 1/10

// D 0 1 F 6/92

(C 0 8 F 212/14

C 0 8 F 222:40)

C 0 8 L 25:18

【F I】

C 0 8 F 212/14

C 0 8 J 5/18 C E R

D 0 1 F 1/10

D 0 1 F 6/92 3 0 7 C

C 0 8 F 212/14

C 0 8 F 222:40

C 0 8 L 25:18

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 30 日 (2005.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

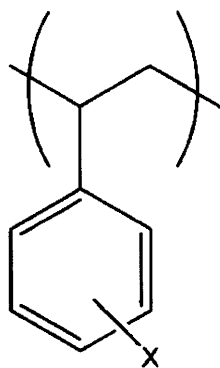
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

200 から 400 までの加熱重量減量率が 5 % 以下で、かつ、20 × 65 % R H での吸湿率を A 重量 %、30 × 90 % R H での吸湿率を B 重量 % としたときの B と A の差が 20 重量 % 以上であり、一般式 (1) で表される構造単位、一般式 (2) で表される構造単位及び多官能性構造単位を少なくとも含有し、かつ、高分子微粒子全体に対して前記一般式 (2) で表される構造単位が 1 ~ 50 重量 % であることを特徴とする高分子微粒子。

一般式 (1)

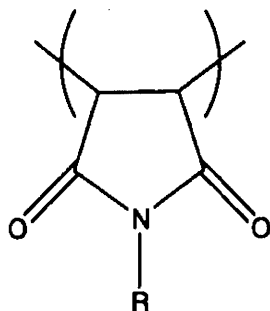
【化 1】



(式中 X は、 COOM または SO_3M を表し、M は水素イオン、アルカリ金属イオン、アンモニウムイオン、有機アンモニウムイオンまたは有機第四級アンモニウムイオンから選ばれる 1 価の陽イオン。)

一般式 (2)

【化 2】



(式中 R は、炭素数 1 ~ 20 のアルキル基、アリール基、アラルキル基およびシクロアルキル基から選ばれる炭化水素基。)

【請求項 2】

メジアン粒子径が 200 nm 以下で粒子径 300 nm 以下の粒子頻度の積算が 97% 以上であることを特徴とする請求項 1 記載の高分子微粒子。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載の高分子微粒子を含有することを特徴とする吸放湿性樹脂。

【請求項 4】

繊維状またはフィルム状に加工されたことを特徴とする請求項 3 記載の吸放湿性樹脂。

【請求項 5】

請求項 3 記載の吸放湿性樹脂を含有することを特徴とするイオン伝導性膜。